

1. 水道の環境保全計画の策定業務

概要

水道事業は、水循環系の構成要素として、清浄で安全な水を安定的に供給するという重要な役割を果たしている反面、多量のエネルギーや各種資源を消費し、浄水汚泥や廃棄物を発生させ、環境に少なからず影響を及ぼして成立しています。

近年、地球温暖化対策、物質循環の確保と循環型社会の形成、環境保全上健全な水循環の確保など、環境問題への対応が重要になってきており、水道においても率先的・積極的な取り組みが求められています。

業務実施のメリットや効果

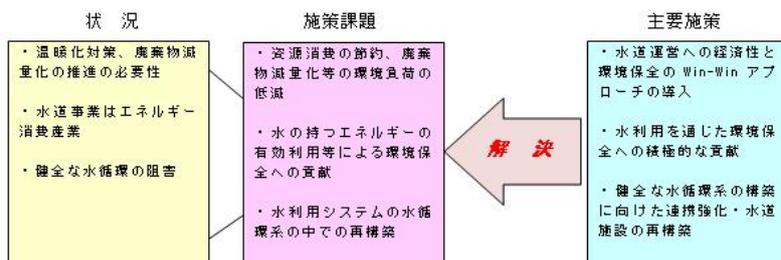
- ① 環境保全と経済性の両立(Win-Winアプローチ)を目指した効果的な施策立案を支援いたします。
- ② 効率性と環境・省エネルギー、持続可能性といった様々な視点からの分析・見直しを行います。
- ③ 電気エネルギーの使用や石油代替エネルギー等の積極的な利用により、環境負荷の低減を目指します。

本業務では、

- ①健全な水の確保
- ②施設機器の省エネ化、太陽光・風・水エネルギーによる自家発電
- ③3R(リデュース、リユース、リサイクル)

の実行などを対象とした業務です。

【環境・エネルギー対策の強化に係る施設課題及び主要施策】



水道事業における環境保全対策例

公害防止	<ul style="list-style-type: none"> ・水質汚濁防止、化学物質の適正管理、その他公害防止など関連法令を遵守
省エネルギー (地球環境保全)	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー、石油代替エネルギーの利用促進 ・環境効率性・経済効率性の良いシステムへの変革 ・施設更新等にあわせ、エネルギー消費の少ない施設やシステムを整備 ・水の有する位置エネルギー、熱エネルギー等の利用 ・他分野との協調・調整を図り、社会システム全体で環境負荷を低減
資源循環	<ul style="list-style-type: none"> ・浄水発生土や水道工事等で発生する土やコンクリート塊等の再利用 ・効率的な資源利用、廃棄物減量化リサイクル等の推進
健全な水循環	<ul style="list-style-type: none"> ・漏水防止等による有効率の向上、老朽施設の計画的な更新等 ・用途間転用、取水・排水位置の適正化 ・上流取水による水道システムの再構築 ・地下水利用から水道水利用への転換などを必要に応じて進める
環境管理	<ul style="list-style-type: none"> ・環境評価活動プログラムなど活用し、自主的かつ積極的な環境保全への取り組み
社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・自然保護、緑化等の環境改善対策 ・地域住民の環境活動に対する支援等 ・環境情報の公表・環境公告などを通じ関係各機関や民間企業、流域住民との連携